



井川小学校 学校報

平成 28 年 9 月 21 日 第 14 号

緑 風



学校教育目標

豊かな心を持ち、共に考え、自ら高めていく子ども

1 学期の自己評価（児童・職員）をお知らせします

1 学期の成果と課題について、全児童と全職員が答えたアンケート結果を次にお知らせします。

子どもたちは、5 月に比べて学習や生活でおおむね向上しています。特に授業では、目標にしてきた聞き方や話し合いについてできるようになった子どもたちが増えました。また、これも目標にしてきた避難訓練についてもよくできたと回答しています。

一方、進んで発表したり、積極的に係活動などをすることはまだ十分ではないと答えています。また、ひやかしやからかいのない学級にも至っていません。

2 学期は、こうした課題に応えることができるよう、新たな取り組みを現在計画しています。ご支援をよろしくお願いします。

学習・生活アンケート結果（2 年～6 年全児童）

		質問内容 (4-そう思う 3-ややそう思う 2-あまり思わない 1-そう思わない)	5 月 調 査	9 月 調 査	
学 習	1	勉強が楽しい	3.3	3.4	➡
	2	勉強がよくわかる	3.2	3.3	➡
	3	勉強がわからない時、わからないと言える	2.9	3.0	➡
	4	進んで自分の考えを発表している	2.9	3.0	➡
	5	わけや理由を発表している	2.9	3.1	➡
	6	話す人を見て聞いている	3.6	3.6	
	7	グループや全体で話し合いができる	3.4	3.5	➡
生 活	1	学校は楽しい	3.6	3.6	
	2	思いやる言葉遣いをしている	3.3	3.3	
	3	係や委員会によく取り組んでいる	3.5	3.4	➡
	4	帰りの会で友達のよさを伝え合っている	2.7	3.0	➡
	5	学級会で学級のことを話し合っている	3.1	3.2	➡
	6	縦割り活動は楽しい	3.7	3.6	➡
	7	いじめや冷やかし、からかいのない学級や学校だ	3.1	3.1	
	8	避難訓練でよく考えて行動できた	3.6	3.7	➡

職員の評価も、昨年に比べるとおおむね向上しています。特に「目標のある学校」についてはそれぞれがよく取り組んだと評価しました。また、地域への情報発信についても高い評価をしています。しかし、授業のルールや一人一人への対応についてはまだまだと答えているほか、進んで活動しようとする自主性などもっと指導が必要だということが明らかになりました。

「学習」「自主性」の二つについて、子どもたちも職員も共通して課題意識を持っていることがわかり、二学期にその解決への取り組みを始めたいと考えています。

平成28年度職員学校評価(1学期)					課題あり	昨年比
NO		主 な 取 組 み	28年	27年同期		
1	学校教育目標	「子どもが主役の学校」になっている。	3.3			
2		「感動のある学校」になっている。	3.2			
3		「到達目標のある学校」になっている。	3.5			
4		思いやりをもつ子どもたちである。	3.1	2.8		➡
5		共に考えることのできる子どもたちである	3.1	2.8		➡
6		進んで活動する子どもたちである。	2.8	2.7		
7	経営全般	教育目標や学校経営の重点が共通理解され実践されている。	3.2			
8		分掌組織がうまく機能し、責任ある運営が協働でなされている。	3.1	2.9		
9		学校経営に積極的に参画している。	3.1	3.0		
10		会計処理が適切に効率よく進められている。	3.4			
11		校舎内外の環境・諸施設・設備は児童の活動に適するように整備されている。	3.0	2.9		
12		避難訓練などの改善を行い自らがよく考えて行動できている。	3.1			
13	教育課程	教科の進度は計画どおりであり、時数は確保されている。	3.1	2.8		➡
14		学校行事や学年行事がねらいを踏まえて改善が図られている。	3.2	3.1		
15		道徳の時間を確保し体験活動と関連を図ってすすめている。	3.0	3.0		
16		総合的な学習の時間は計画的に進められ、魅力あるプログラムになっている。	3.1	3.0		
17		児童の健康管理や安全に関する指導が適切に行われている。	3.2	3.0		
18		食に関する児童の意識が高まっている。	3.0			
19	学習指導	開始時刻と同時に授業がスタートしている。	3.3	3.0		➡
20		授業研究が実践的で授業改善に資するものになっている。	3.1			
21		自信を持って臨める授業づくりをしている。	3.0			
22		授業で子どもたちが理由をはっきり述べることができる。	2.8	3.0		
23		聞き方や話し方などの学習習慣が徹底されている。	2.8	3.0		
24		学習が遅れてがちな子どもへの支援を行っている。	2.9			
25		特別な教育的支援を必要とする子どもへの支援が、適切・有効に行われている。	3.1	3.0		
26		図書館を積極的に活用している。	2.5			
27	生徒指導	一人一人とよく対話をし児童理解に努めている。	3.1	2.9		
28		問題行動に迅速に対応している。	3.2	2.9		➡
29		きまりを守り、相手を思いやる言葉遣いができる。	2.9	2.8		
30		いじめ防止について予防や早期対応が図られている。	3.2			
31	特別活動	校内外における事故防止や子どもの安全意識が高まってきている。	3.0	3.1		
32		互いの人格を認め合い、協力したり助けあったりする学級作りに努めている。	3.1	3.0		
33		学級会などでの話し合いが積極的に行われている。	3.0			
34		委員会活動では具体的な目標を設定して活動している。	3.1			
35	地域連携	縦割り活動は清掃などよく協力して行われている。	3.4			
36		学校(学級)は経営方針や情報を積極的に地域や保護者に伝えている。	3.4	2.9		➡
37		学校は、地域の人材や施設などを効果的に活用している。	3.2	3.2		
38	小中一貫	学校は、さくらサポートや警察、消防署等の関係機関とよく連携・協力してい	3.5	3.4		
39		平成30年度開校に向け教職員の意識の高揚や準備が進んでいる。	3.0			
40		地域、保護者、児童に小中一貫教育についての理解が深まっている。	2.5			
41		こどもセンターとの連携交流が効果的なものになっている。	3.2			